

青葉区民防災必携



青葉区マスコットキャラクター
「なしかちゃん」

1 災害時の情報を正確に入手しよう

災害時における情報は、的確な連絡手段をとり、根拠のないデマ情報に惑わされないように、信頼できる情報源から、正確に収集することが大切です。

以下のように、この情報を得ることのできるのしかり確認しておきましょう。

①ラジオ	地震情報、余震情報は、テレビ・ラジオを通じて最も早く知ることができます。テレビ・ラジオの放送には、常に注意を払いましょう。
②携帯電話	●近所の消防署に連絡する→ 埼玉市ホームページ ●埼玉の防災に関する情報→ 埼玉県防災情報 Twitter (@byokushima_sai) ●さいたま市に関する情報→ さいたま市ホームページ ●さいたま市消防に関する情報→ さいたま市消防局 Twitter (@byokushima_sakubu) ●気象情報に関すること→ 気象庁ホームページ
③インターネット	区内では防災関係のウェブサイト、区民の防災に関する情報・復興情報では防災ポータル「イッパル」、JCOM (じーこむ) のi24Hです。
④防災グッズ	防災グッズは、防災グッズを必要とする区民の状況、区民の生活状況、生活習慣など、実地者が必要とする防災意識や情報を把握することが大切です。

災害時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される音の伝言板です。

ご利用方法

- ※「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をおこなってください。
- ※録音された伝言は被災地の別の電話番号を知っている全ての方が聞くことができます。

1 2 1 をダイヤル

171 の場合は **1** をダイヤル **171** の場合は **2** をダイヤル

被災地の方の電話番号を外部宛先にダイヤル

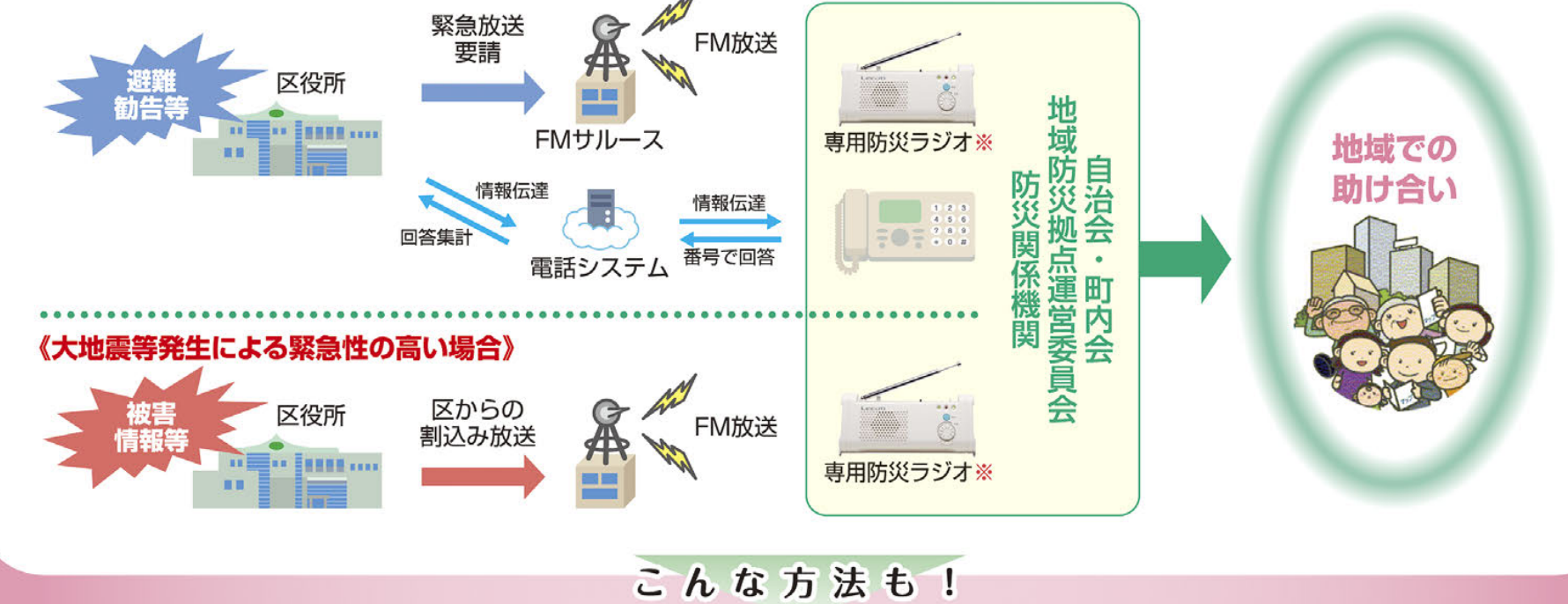
1 をダイヤル **2** をダイヤル

9 を入力



〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
こちらにお問い合わせください。

避難勧告、土砂災害警戒情報、特別警戒、震度5強以上の地震など、重大な被害が予測される緊急性が高い場合に、災害情報を専用防災ラジオと電話を活用して、自治会・町内会や地域防災拠点、防災関係機関に伝達する青葉区独自のシステムを運用しています。その情報を地域で活用していただき、災害の被害を減らすことを目指しています。



○ スマートフォンアプリによる情報伝達

緊急発信発信時は、待受画面でもアラーム音と共に文字による緊急通知を行います。また、災害発生後には通常のメールよりも、平常時には、イベント情報等も配信するほか、インターネットラジオ（FMサールス）を聴くアプリとしても利用することができます。

ぜひダウンロードしてください。

災害・緊急情報を発表された情報をFMサールスで配信!

● スマートフォンアプリでは、作中からいかなるリアルタイムでも受信可能。
● 受信履歴ログをスワイプ、タップすることにより、アプリが立ち上がりませう。

主な通知機能

商業区からの緊急発信

- ・避難経路
- ・避難場所（震度3以上）
- ・地震情報（震度3以上）

【このアプリに関するお問合せ】
横浜コミュニティ放送株式会社 (FMサルース)
TEL : 330-5322

ぜひご登録ください。

屋根

- 台風や大雨の到来が予測できるからと屋根に雪ははいりませんが、漏れずには、どこからか雨水が滲み立てておきましょ。
- いどうとうきに適切な行動が取れるように、非常時の持ち出し品(食料、水、懐中電灯、携帯ラジオなど)を準備しておきましょう。

外壁

- ひび割れや窓枠のがたつきなどがないかを確認する。劣化箇所などに備えて外側から板でふさぐ。

プロパンガスボンベ

- しっかりと固定されておくか確認する。

雨どい

- 破損が目のはずれや、破損がひどい状態の場合、落ち葉や土砂で詰まらせないように掃除する。

ベランダ

- ベランダから物干し竿や植物鉢などが落下しないよう、防網に付ける。

南戸

- がたつきやゆれのみ等があれば補強する。

ブロック塀

- ひび割れや傾斜箇所を修繕する。

雨溝

- ゴミや土砂を取り除き、流れをよくしておく。

① 計画規模 津波 (約 405 cm)

計画規模の津波 (2日間で約 405 cm) を前提として川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合を想定したものです。

(平成 26 年に発生した台風 18 号において、堤防決壊 (台で 2 日間で 35.2 mm の降雨量を観測しました。))

② 最大規模 津波 (約 792 cm)

想定し得る最大規模の津波 (2日間で約 792 cm) を前提として川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合を想定したものです。

(本想定は、1000 年 1 回周期発生する可能性のある降雨量を上回る豪雨を想定しています。))

土砂災害警戒区域 ⇒ 避難マップ参照

がけ崩れなどが発生した場合に、住民の生命や身体に被害をもたらすおそれのある区域を都道府県が指定しています。

- ・傾斜度が 30 度以上で高さ (h) が 5m 以上の区域
- ・急傾斜地の下端から水平距離が 10m 以内の区域
- ・急傾斜地の上部から急傾斜地の高さ (h) の 2 倍 (50m) を超える場合は 50m 以内の区域

	気象警報等の発表	情 報 内 容	情報入手手段
危険度 ↑	大雨注意報	大雨により、災害が起こるおそれがある。	防災情報Eメール
	大雨警報	大雨により、 重大な 災害が起こるおそれがある。	FM サルースアプリ
	土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生時の 危険度が更に高まった とき。	FM サルース (ラジオ)、 広報車等
	記録的短時間大雨情報 数年に一度の規模	数年に一度の記録的な短時間の大雨を観測したとき。	
危険度 ↓	特別警報 数十年に一度の規模	大雨により、 重大な災害 が起こるおそれ 著しく大 きい場合。	

※市では国土交通省・気象庁・神奈川県が発表する気象情報、雨の降りや河川の状況を含め総合的に判断し、必要に応じて**注意情報を発表**します。

▶ 注意情報については以下のページを確認ください。

○ 情報収集について

注意報や警報の種類によって様々な情報伝達手段があります。そのため、いろいろな媒体から情報入手できるようにすることはとても大切です。

「FM サルースアプリ」や防災情報Eメール」など

「FMリレーサルース」等の登録方法はホームページをご覧ください。

避難情報の種類

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告

避難指示（緊急）

とるべき避難行動

次に該当する方は、避難を開始してください。

○年々高くなる、水の手伝ひがつかない方など、避難に時間がかかる方と、その避難先を探す方

※避難場所への避難が困難な場合は、近くの安全な場所へ避難してください。

それ以外の方については、気象情報に注意し、危険だと思ったら早めに避難をしてください。

速やかに避難を開始してください。

外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。

緊急に避難してください。

外が危険な場合は、屋内の高いところに緊急に避難してください。

避難のサイン

河川

低地

がけ

○水位が急に増してきたとき

○河川の流れが早くなったとき

○がけ地帯の流れがひどく濁ったり、流れや大きな石が流れてきたとき

○橋梁やマンホールから大量の水が湧き出るとき

○雨水がはげしく大量に流れ込み水がたむとき

早めの避難行動

垂直避難

水平避難

屋内避難

そんな時は！

堅牢な建物の2階以上または近隣の高い建物の避難

避難場所、避難区域外の賢慮の必要で安全な場所への避難

屋外に避難することから離れた、部屋や2階以上への避難

○ **家庭での主な備蓄**…食料・飲料水は最低3日分、できれば1週間程度程度の備蓄をしましょう。

- ☐ **水**
飲料水は、1人当たり
1日3リットルと考
えて備蓄をしましょう。

- ☐ **食料**
簡単に食べられるイン
スタント食品やレトルト
食品、缶詰などの保存食
を備蓄しましょう。

- ☐ **トイレバック**
家庭のトイレなどに
設置して使用する、凝
固剤と袋がセットに
なったバックです。

○ **非常持出品の準備**…必要量をリュック等に入れて、非常時にはすぐに持ち出せるようにします。

- ☐ **懐中電灯**
(予備電池も用意)

- ☐ **携帯ラジオ**

- ☐ **貴重品**
(現金、預金通帳、
印鑑、健康保険証)

○ **各家庭に適した備蓄**…ベットのいる家庭や乳幼児のいる家庭など自分に必要なものを備蓄しましょう。

- ☐ **ベットのいる家庭**
ケージ
フード

- ☐ **乳幼児のいる家庭**
ミルク
おむつ
おしりふき

- ☐ **要介護者のいる家庭**
薬 (服用している方)
印鑑、健康保険証

大地震発生

避難の必要があるか迷うとき

大災害が発生し、火や煙から身を守る必要があるとき

避難場所
（近所の公園等、自治会・町内会や地域で決めた場所）

広域避難場所
（一定の広さがある場所）

家屋倒壊等で自宅に戻れないとき

地域防災拠点
（自宅で生活できない方が避難生活をする場所）

福祉避難所生活が困難な方は

福祉避難所
（高齢者や障害者などのうち、避難生活で特別な配慮が必要である人のための二次的な避難場所）

市民の自助・互助による応急手当

医師の治療を必要としない軽い程度の負傷の場合は、自助・互助による応急手当で行ってください。

なお、全ての被災者（避難民）に食料・飲料水（衛生薬、消毒液、包帯、ばんそうこうなど）が配布されています。

生命の危険のないが入院を要する場合

生命の危険がなく入院を要しない場合

中等症

重症

生命の危険がある場合

応急手当で対応可能な軽度の負傷

[重症度別医療提供体制のイメージ]

※お近くの市町村緊急医療機関などにバッチリ立ちます。
災害発生時にも必ずお持ちください。

災害の激しさ
↑
増加傾向にある

◆ 災害拠点病院へ「あそこのほり」

除中室

区内1号館
→ 消防隊と診療所

◆ 災害時救急診療場へ「あそこのほり」

区内7か所
→ 青雲さいわい病院
→ 市庁児病棟
→ 江田記念病院
→ たじろば台病院
→ 緑陽会病院
→ 横浜南都心内科神経外科院
→ 横浜総合病院

◆ 地特定点診療拠点へ

区内12拠点（詳細は別添）
→ 区内で最重度から軽微までの被害があった場合に地域防災拠点到昇致

◆ 巡回診療

医師会等で構成される巡回診療チームが地域防災拠点へ

～ひとりの助け合い～

地震発生から7時間（8日間）経過後に死者を分けると思われる。災害前に消防車、急救車を十分に現場に向わせることは重要かつ、その間に救助活動の助け合いも大きな力になります。

災害時に協力できるよう日ごろからの備えの関わりをお願いします。

要援護者の方は

- あおば災害ネット

あおば災害ネットとは、災害発生時に一人では難く感じる高齢者等の多くの人（災害弱者層）に近隣の助け合いが行えるよう、あらかじめ要援助者の情報を登録し、共有するためのシステムです。

登録は地域の担当民生委員にお申込み下さい。

住居情報	健康状態	家族関係	介護状況
利用サービス	生活支援	相談窓口	連絡先

登録内容についてはこちらをご覧ください。

[illegible]